



4th Office

前 奏

起立：賛美歌

(祭司 跪いた後、みことばを開き、読み上げる。)

会衆：アーメン

祭司：おこしてください。ふし拝み、ひれ伏しましょう。私たちが造られた方、主の御前に、跪きましょう。

跪 全員

祭司 神よ。御恵みによって、私に情けをかけ、

会衆 あなたの豊かなあわれみによって、私のそむきの罪をぬぐい去ってください。

祭司 どうか私の咎を、私から全く洗い去り、私の罪から、私をきよめてください。

会衆 まことに、私は自分のそむきの罪を知っています。私の罪は、いつも私の目の前にあります。

祭司 ヒソブをもって私の罪を除いてきよめてください。そうすれば、私はきよくなりましょう。

会衆 私を洗ってください。そうすれば、私は雪よりも白くなりましょう。

全員 私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。

あなたの救いの喜びを、私に返し、喜んで仕える霊が、私をささえますように。

主よ。私のくちびるを開いてください。そうすれば、私の口は、あなたの誉れを告げるでしょう。

祭司 神へのいけにえは、砕かれたたましい。

会衆 砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。

祭司【祈り】

会衆「アーメン」

【主の祈り】全員

天にいます私たちの父よ。

御名が聖とされますように。

御国が来ますように。

みこころが行われますように、

天で行なわれるように、地においても。

私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。

私たちの負いめをお赦してください。

私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。

私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。

国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。

アーメン。

祭司 わが神、主よ。私を助けてください。

会衆 あなたの恵みによって、私を救ってください。

お す く い く だ さ い あ な た の た み を た
か め て く だ さ い と こ し え に

立：全員

祭司 神である主、救い主、イエス・キリストに栄光がありますように。

会衆 主はアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。

祭司 アーメン 主のみ名が褒め称えられますように。

ホー リー ホー リー ホー リば んぐんの 主
 そのえい 光 ぜん 地 に 満 つ そのえい
 光 は ぜ ん 地 に アー メン

【朗誦・詩編交読】

お お なる その名 に さ ん 美 と ほまれ をー
 か み の み 名 を てんち よあが めまつ れー

♪王なるその名に 賛美とほまれを 神のみ名を 天地よあがめまつれ

座 全員

朗読者は（祭壇からみて）祭壇の右側に立って朗読

【第一朗読】旧約聖書より

【第二朗読】新約聖書より

【第三朗読】天界の教えより

みことばを聞いて行う人は幸いです。アーメン

間奏

起立：賛美歌

（祭壇からみて）祭壇の左側にて朗読

【説教】

立 全員

祭司 ただ一人の神であるイエス・キリスト、主が、栄光のうち、とこしえに治められますように。アーメン

全員 讃美歌 奉献

♪今捧げる捧げ物を、主よ清めてお受け下さい。アーメン

祭司（讃美歌 奉献の間に捧げ物を運ぶ。奉献に続いて、奉献文を述べる）

「私は、自由にささげるささげ物をもって、あなたにいけにえをささげます。主よ。いつくしみ深いあなたの御名に、感謝します。」（詩編 54:6）

跪 全員

祭司 祈りましょう。・・・・・・アーメン。

【祝福】

祭司 主、イエス・キリストの恩寵が、いつもあなたがたすべての上にありますように。アーメン

（祭司 跪き、〈みことば〉を閉じ退場）

全員 起立 讃美歌

座 （後奏）